

「ダイバーシティ（多様性）が社会を変える」

過日、表題のキックオフシンポジウムが椿山荘で開催されました。

パネルディスカッションでは、「意思決定層への女性登用～組織が変わる」、「女性の意識改革～女性が変わる」、「生産性の高い働き方～社会が変わる」構成で、パネリストは日本企業のトップ人（男性）や大学教授や起業家の女性でした。「長い間の男性中心、モノカルチャーの社会習慣やビジネス等の仕組みから異なった価値観や違った強みを持った人たちの力を活かし、新しい発想と価値を生むダイバーシティの社会へと変わっていく新たな機運が生まれつつある。その変化の第一歩が女性活用の動きの活発化である。女性活用こそ、日本で更なる変革とイノベーションを創造する活力ある社会への礎なのである」と。日本の男性社員の長時間労働の脱却が必要であると日本医師会の横倉会長は主張され、各省庁と放送界が労働過重であると内閣審議官の女性は訴えており、お茶の水女子大学長羽入佐和子氏は、親はどう育てているのか・ロールモデルや多様な生き方など家庭での教育の必要性を主張されました。以下、印象に残っているキーワードを羅列してみますと、「理念を言っている時代ではない、まず実践から」「個人の力をつける」「私を変える、社会を変える」「20、30歳代は仕込み時期、共助関係、義務から始めるのが仕事に成功する条件」「女性のアイデア、フットワーク、テレワーク、子連れ出勤してでも自分のやりたいことを実現」「自発的行動、目標達成、優先順位、協力を得ること」「生産性とは有限時に効果を高めること、多様な人材登用、評価は米国2.0、日本1.25（フィリピンと同じ・時間当たり生産性）」等、刺激の多い言葉が続出し、なかでも30歳～40歳代の女性パネリストからの元気のよい発言は、日本の若者の元気を頂きました。

しかしながら、確かに男性社会と長らくいわれてきた日本社会ですが、その男性が安心して社会で活躍できる支えは、女性であることは今に始まったわけではないと思います。そもそも女性は、母性として出産・育児ができるように強い体と包容力がホルモンによって作られていると思っています。それは、ワイズメンズクラブにおいても同様で、メネットとして登録されている女性がメネットの役割を持ちながら、ワイズメンが十分に力を発揮して活躍できているのも、その陰で支えているメネットであると私は見えています。ただ、女性の中には良いアイデアや起業家になる資質のある人も多くいますので、価値基準を広くして、多様性のある働き方が望ましいと思います。この時、その人の活躍をセーブするようなパートナーでは困ります。つまり、女性とか男性とかでなく、できる人が活躍し、それを支えたり協力するパートナーが必要だと思えます。

「すべての女性が輝く社会づくりの本部」が安倍総理を本部長として設置されましたが、母性と父性として神に与えられた特性はいつの世でも失いたくないものです。

那須ワイズメンズクラブ副会長 河野 順子

「アジア学院収穫感謝の日にブース出展しました！」

10月11日（土）・12日（日）の2日間でアジア学院にて行われた「第42回収穫感謝の日」に、那須YMCA・那須ワイズメンズクラブ合同ブースを出展いたしました。ブースでは、リサイクル品・手作りの品の販売とくじやキーホルダー作りを行いました。また、那須YMCAユースボランティアリーダーが両日合わせて7名のリーダーもお手伝いに来てくれました。

両日とも晴天に恵まれ、多くの来場者がありました。商品の販売やゲームコーナーで得られた益金は、2日間でここ数年では最高金額の57,908円となり、その益金のうち40,000円を将来の農業リーダーを育てるアジア学院生の奨学金として寄付をさせて頂きました。（残りの益金は那須YMCA・那須ワイズメンズクラブの活動のための基金にさせて頂きました。）ご協力下さった皆様に感謝申し上げます。



「第27回ユースボランティア・リーダーズフォーラムに ボランティアリーダーが参加しました！」

9月19日（金）～9月21日（日）に東京YMCA山中湖センターにて第27回 ユースボランティア・リーダーズフォーラムが開催されました。今年は「今、ユースリーダーに求められていること」をテーマに東日本のユースリーダー約20名が集まり、基調講演やプログラムに参加し学びを深めていきました。那須YMCAからは2名のリーダーが参加しました。参加した2名のリーダーの感想を掲載いたします。

▼もっちゃんリーダー（橋本 裕翼、国際医療福祉大学1年）

様々な地域のリーダー達と、YMCAにかける熱い思いを語り合ったり、活動していくうえでの悩みを相談しあったりして、とても有意義な時間を過ごすことができました。地域によって、リーダーの体制やYMCAの考え方、今抱えている問題が異なり、これらを吸収することで、視野を広げるこのフォーラムで学んだことは、一緒に活動しているメンバーに伝え、今度の活動に活かしていこうと思います。

▼シェルリーダー（酒井 舞、国際医療福祉大学1年）

今回、フォーラムに参加させていただき全国のYMCAの方と活動できて視野が広がりました。なぜならばそれぞれの地域での歌や活動内容、活動の中でも違った視点からの考え方などを知れて考えさせられることがたくさんあったからです。ユースボランティアリーダーに求められていることについての話し合いでは私達のグループでは「バランス」という言葉にたどり着きました。この言葉にはたくさんの意味が含まれていますが、大まかに述べると物事において偏りが出ないようにするという事です。フォーラムに参加させていただきありがとうございました。学んだことをこれからの活動に活かしていきたいです。

今回参加したリーダーたちが、今回の経験が糧となり、YMCAでのボランティア活動が実り多きものとなりますように願っております。この度は貴重な機会を頂きどうもありがとうございました。



「西那須野幼稚園第58回運動会が開催されました！」

10月11日（土）は西那須野幼稚園第58回運動会（年中・年長組）が開催されました。西那須野幼稚園では、毎週木曜・金曜日に年中・年長組園児の運動あそびをYMCAスタッフの荒井が体育講師として指導をさせて頂いております。この日の運動会に荒井が招かれ、子どもたちの頑張りの姿や笑顔を見させて頂くことができました。子どもたちは普段の運動あそび以上に真剣な顔で、かけっこや鼓笛、ダンス、リレーなどを行っていました。子どもたちの沢山の素敵な姿を見ることができたのも、日頃のご縁があるからこそだと思います。このご縁を大切に、那須YMCAの活動に精一杯努めさせて頂きたいと思っております。



NASU YMCA Memory

このコーナーでは那須YMCAに関わる方々の思い出やエピソードを紹介いたします！

『那須YMCAのおもいで』 とちぎYMCA 松本法判（まっちゃん）

1995年の那須ワイズメンズクラブがスタートした2年後、1997年に那須YMCAが設立されました。藤生強さんから引き継ぎ、1998年～2007年の10年間、那須YMCAを担当させていただきました。設立当初からの那須YMCAの三本柱は、地球探検隊（野外活動）、ボランティアスクール（リーダー育成）、アジア学院との協働（国際交流）です。那須YMCAは、那須ワイズ・会員・ボランティアリーダー…。みなさまからのお支えやチャンスをいただいて活動ができています。

1. 那須ワイズの河野順子さん

今では職場体験、インターンシップなど良く耳にしますが、那須YMCAでは1997年からボランティアスクールを取り組んでいます。当時、大田原赤十字病院の看護部長をされていた河野さんがボランティアの受け入れを快くしていただいたおかげで、今日があります。

2. 那須ワイズの鈴木保江さん

とちぎYMCAリーダーOGで、看護師の仕事と育児、赤十字活動や那須ワイズ活動など精力的です。那須YMCAを担当した時、私は免停中で、保江さんには、いろいろ車で施設回りを一緒にしてもらいました。今では、ゴールド免許です。

3. 田村修也さん

田村さんと言ったら、レクリエーション&アコーディオン&ピアノ&オーバーオールが印象的です。花・木など自然に詳しく、ネイチャーガイドもお願いしています。また西那須野の開拓の話は、すごく勉強になりました。田村さんがリードしてくれる塩原大沼、那須街道の植樹活動は継承していきたい活動です。

4. 原田時近さん

1983年塩谷キャンプ場を開設してから今日まで、橋の補修、薪の寄付、キャビン・ログハウスの建設、ベンチ製作、草刈りなどの管理をYMCAと一緒にしてくださっています。原田さん宅で、毎年行われている、「納涼例会」は、これからも楽しみにしたい活動の一つです。

5. 村田榮さん

姫路クラブ・YMCAで永年活躍されてきた村田榮さん・紀美子さんご夫妻は播州を離れてメネットの故郷の那須に引っ越されてきました。那須ワイズのプリテンは、村田さんが作成しています。

【思い出①：人生で一番怒られたこと。】

「エルムの園」の故榎井一俊さん（那須YMCA会員）のご厚意で、エルム共同作業所の2階をお借りして、那須YMCA&那須ワイズメンズクラブの活動がスタートしました。いつまでもエルム共同作業所の2階をお借りするのも申し訳ないと思い、また那須YMCAの所在を明確にしようと考え、大田原郵便局に私書籍の申請をしました。那須YMCAに来る郵便の数を調査するため、局留めにしなければならなかったのですが、その時、気が回らなかった私は、エルム共同作業所宛のすべての郵便物も停止してしまいました。その事態を知った榎井さんに、ものすごい剣幕で怒られました。しかし、その失態の後でもボランティアスクールで青少年を受け入れてくださいました。

【思い出②：那須YMCAの事務所を大田原に移転する。】

会員の鷹栖晴奈さんのご厚意で、運送会社の一室を那須YMCAの事務所として貸してくださいました。また那須YMCA発足記念事業として「北タイスタディーツアー」を実施した時は、松下基金を参加者に支援することをしてくださいました。

【思い出③：那須YMCAの事務所を西那須野幼稚園隣り、こひつじ託児園3階に移転する。】

会員の福本光夫さん（西那須野幼稚園園長）のご厚意で、こひつじ託児園3階、ベティスタホーム2階を那須YMCAの事務所として貸してくださいました。2002年度、学校5日制がスタートした時からサタデークラブを西那須野幼稚園と協力しながら実施しています。また体育クラス、英語クラス、学童保育など様々なプログラムを展開しています。

他にも、会員の入田和恵さんに「絵手紙教室」で指導してもらったこと、那須ワイズの故一木恒司さんにいろいろお世話になったこと、地球探検隊・どんぐりクラブの活動、リーダーと一緒に過ごした時間などは、忘れられない思い出です。これからもみなさまのYMCAを県北地域で盛り上げていただきたいと思います。



塩谷町の尚仁沢へ
ハイキング



ボランティアスクール
説明会の様子



ワイズと子どもたちで
塩原ハイクへ



塩谷キャンプ場に
リーダートレーニング

Leader's Voice

このコーナーでは那須YMCAで活躍するリーダーたちの声を紹介していきます！

Voiceテーマ：好きなキャンプソング♪

- ① リーダー名 (名前)
- ② 大学/学年
- ③ 専攻

YMCAのプログラムで子どもたちと一緒に色々なキャンプソングを歌うのですが、今回は、リーダーが大好きなキャンプソングを聞いてみました！



① あっちゃん (市川 あすか)
② 国福大/大4
③ 言語聴覚学



① みっきー (仙庭 李理子)
② 国福大/大4
③ 言語聴覚学



① まっつん (松倉 恵利菜)
② 国福大/大4
③ 放射線・情報科学



① ぶよぶよ (山口 開)
② 国福大/大3
③ 薬学

☆キャンプソング ベスト3☆

第1位	ロックマイソウル
第2位	わっ
第3位	友だちお日さまやさしい心

その他には、「明日は晴れる」や「キャンプだホィ」、「陽のあたる道」、「がんがん」、「キャンプソング全部!」など意見がでました!

那須YMCAのリーダーたちにアンケートをとって、第1位に輝いたキャンプソングを紹介します!



① つんつん (高津戸 佑騎)
② 国福大/大2
③ 視機能療法学



① れいれい (鈴木 伶菜)
② 国福大/大3
③ 医療福祉・マネジメント学

☆ ロックマイソウル ☆

1 オーロック マイ ソウル
 ロック マイ ソウル みんなで歌おう
 ロック マイ ソウル みんなで歌おう
 ロック マイ ソウル みんなで歌おう
 オー ロック マイ ソウル

2 高く^{たか}て のべれない
 低^{ひか}くて くぐれない
 広^{ひろ}くて まわれない
 オーロック マイ ソウル

3 ロック マイ ソウル
 ロック マイ ソウル
 ロック マイ ソウル
 オーロック マイ ソウル

「ロックマイソウル」はYMCAキャンプソングの定番中の定番!体を大きく動かして歌うこの歌は、子どもたちも大好きです!
 いつも始まる時は、「お〜!!!」と始まりの合図があります!